

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

直腸癌の大きさ、位置による手術難易度の評価および術前治療による腫瘍縮小の影響

1．研究の対象および研究対象期間

2001年4月1日から2022年12月31日までに昭和大学横浜市北部病院消化器センターにおいて直腸癌手術を受けた患者さんを対象とします。

2．研究目的・方法

骨盤は骨で囲まれた限られた空間であり、巨大な局所進行直腸癌は十分な空間が得られず手術に難渋することがあります。患者さんの診療録からCT、MRI、下部消化管内視鏡、切除標本などを用いて腫瘍の大きさや位置による手術難易度の評価を行います。放射線化学療法などの術前治療は局所再発率を下げることで報告されていますが、腫瘍が縮小することが多いため手術の容易化、安全性に貢献している可能性があります。この評価も行います。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年 3月 31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

カルテのデータ（年齢、性別、身長、体重、既往歴、手術歴、手術日、再発日、死亡日、受診日、CT・MRI・下部内視鏡・血液検査、病理の検査データ、手術所見、術中出血量、手術時間、術前・術中・術後合併症）

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院 消化器外科 向井 俊平

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院消化器センター 氏名：向井俊平

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7326